

公表

令和7年度 事業所における自己評価総括表

事業所名	フレンズジム中川店		
保護者評価実施期間	2025年8月12日～2025年9月10日		
保護者評価有効回答数	(対象者数) 43	(回答者数) 31	
従業者評価実施期間	2025年8月12日～2025年9月10日		
従業者評価有効回答数	(対象者数) 10	(回答者数) 10	
事業所向け自己評価表 作成日	2025年11月22日		

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行って いる取組等	さらに充実を図るための取組等
充実した活動プログラム	職員それぞれがプログラム内容を把握し、アイデアを出し合いながら、こどもたち一人一人に合ったプログラムを提供している。日々の活動の様子を書面だけでなく、画像や動画で見てもらうこともある。	こどもたちが楽しく過ごせるように常に新しいアイデアにアンテナを張り、意見を出し合うことで、プログラムのブラッシュアップを図る。体操補助研修等を実施しているが、参加できない職員もいるので都度、伝えていき全体のスキルアップにつなげる。
保護者や関係機関と連携をして、最善の支援方法を考えている。	日頃から、送迎時やLINE・電話などで活動の様子を伝えたり、相談に応じている。また、職員間でもその情報を共有し、必要なツールを考えて活用することで、より良い支援につなげている。	各種イベントや保護者会などを定期的に実施しているが、保護者同士や職員との交流の場として有効的に活用していく。
事業所を利用する際に活動プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がされている。	利用開始時には、一つ一つの書類の内容について丁寧に説明するよう努めている。また、利用者負担等の内訳がわかりにくい場合、事前に説明をする等して不明点が出ないように配慮している。	送迎等の連絡方法や各種訓練の実施、プログラムのお知らせ等、利用を開始する段階で説明しているが、必要に応じて都度、大切な情報がどこにあるか保護者に説明して活用してもらう。

事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が 必要な点等
活動室の分け方や死角スペースへの配慮	運動遊びをするスペースは用具を立てて分けてているが、しっかり区切ることが構造上、難しい。	本棚スペースや別室など見通しが悪い場所は、ドアを開けておく等の配慮をして安全な空間づくりを意識する。
お便り（通信）を利用してもらう	毎月、通信を紙面で配布しているが連絡帳に入れたままのご家庭もある。活動時間が変更になる日等もお知らせしているので、一読していただけるように工夫する。	ホームページにも同内容が掲載されているので、紙面と併せてご紹介しながら使いやすいツールをご利用いただく。